

ニキ美術館が載りました！

ニューヨーク・タイムズ

(トラベルセクション)

1997年2月9日号

美術評論家 フィリス・ブラフ(95年10月3日取材)

日本語訳 YOKO増田静江(ニキ美術館 館長)

フランス  
那須に仏蘭西旋風

—ニキ・ド・サンファル、

日本におけるそのドラマチックな彫刻美術館—

— 忘我と陶酔の芸術 —

栃木県的那須高原はほぼ日本列島の中心地帯、茶臼山を一望しながら豊かな森に囲まれてニキ美術館はある。1994年に新規オープン。現代彫刻家ニキ・ド・サンファルの一代にわたる作品群を展覧しているのは、驚くべきことといえるであろう。

ニキ美術館創立者の増田(洋子)静江はニキ作品のもつ豊饒な彩色彫刻の極めて熱烈な信奉者である。1980年に東京の或る画廊でニキの版画一点に出会ったのを始めとして、現在200余点のコレクションをもつ。元パルコ会長の夫君増田通二は美術館の建築コンセプトとデザイ

ン面で協力している。

美術館のある那須町は、小さいながらも、温泉ゆたかな景勝地、また皇室のご用邸避暑地として知られている。東京から新幹線でほぼ80分近くという地の利は日帰り旅行に適してもいるが、多くの人には温泉地の宿泊と美術館探訪をセットにして楽しんでもいる。旧道に面している駅舎からふんわり白雲のたなびく柔らかな緑の山肌に向かって真っ直ぐのびているのは、最近出来たばかりの「プリンセス通り」(土地の人は「雅子様通り」という)。それは、厳格な規制と国立公園法によって自然保護されているこの地帯に不似合いなほど近代的な道路と思える。

さて、この美術館の建つ約8000平米程の土地についても同じく自然環境に対しては、顕著な敬意が払われている。今年秋で2周年目(1995年取材)を迎える建物は、小川をまたぐ回廊のあるジグザグ式一階建で、森のなかに凜々しく建つ。壁面は大ガラスで構成されていて、四季折々の眺めを館内にもたらすとともに、やわらかい自然光が彫刻をひきたたせてもいる。

来館者は、劇的としかいいようのない方法でニキ作品と出遭うことになる。周囲の景色を眺めながらゆく長い回廊のつきあたりには、あたたかも神社の狛犬よろしく、犬神〈アヌビス〉(実は筆者錯覚。正しくは河馬女神〈トエリス〉)の使徒が鎮座ましまして。まず、この生き物がピカピカ発するイルミネーションが目にとびこんでくる。それは電球<sup>つ</sup>角というべきか、はたまた頭部を彩る電飾立て髪というべきか。

古代女神を下敷きにした1990年シリーズのこの作品は、作者の代表作として有名なあの陽気で豊満な〈ナナ〉群像を奇妙なことに彷彿と

させるのだが、一方でまた〈アヌビス〉（〈トエリス〉）は、ニキ・ド・サンファルの作品の中でも精神的要素の強いものであり、来館者の深い感銘を喚起させるものとしばしば言われる。

がらりと変わって、次は作家紹介の材料を揃えたオリエンテーション・ルームである。ここでは、現在イタリア・トスカナ地方で制作中の〈タロットガーデン〉（環境建築群・未完）の拡大カラー写真などがあって、来館者は臨場感を味わえる仕組みになっているのだが、そのほかにもパリ・ポンピドーセンター前ストラヴィンスキー広場の集合噴水や、かつて美術館内に建造された〈横たわるナナ〉を型取った〈ホーン〉などの写真による紹介が見られる。（スウェーデン語で「彼女」の意）。1966年ストックホルム近代美術館の中に制作された〈彼女〉の胎内にはプラネタリウム、ミルクバー、映画館、画廊などの仕掛けが作られ、10万人の入館者を得たと言われる。（全長24メートル、高さ7メートル、幅9メートルのテインゲリーやウルトヴェットらとの共作屋内建築物は「女ガリヴァー」とも「極彩色巨大卵」とも言われた。）

当初増田夫妻はニキ・デザインによる美術館建築を想定しており、結局この型破りなフェアリーテール・プロジェクト・プランは、国立公園法などにより実現しなかったのだが、〈ホーン〉にしても〈タロットガーデン〉の各建造物にしても、人々がその胎内に足を踏み入れるというコンセプトの面では那須のプラン（サンファルのオリジナル模型）と関連するものといえるだろう。

この部屋の各資料は、展示棟内全体に貫かれている各テーマの紹介と、サンファルの生涯にわたる業績を展望し理解するのに役立っている。特に1960年代初頭の抵抗芸術ともいべき作品群。「彼女（サ

ンファル)の自由」を阻んできた既成の男性権力や両親に向けられた激しい怒りの表現は、最近完成の優れたドキュメンタリー・フィルムの中(「ニキー怪物は誰かしら? '95」)でも語られていて、作家のバックグラウンド理解を助けている。

これら社会に物申す作品群の、タフな攻撃性、暴力性。それは物理的にも甚だ複雑な制作となっている。たとえば、その一例として<モンスターハート>という作品がある。骸骨やプラスチック人形、台所用品、玩具や鉄砲、ゴム製の鰐などが混在している巨大な石膏作りのハート型壁掛けである。これら1961年一連の<射撃>絵画は、絵の具の容器をつめた作品に向かって弾丸を発射するという技法により、サンファルの革新家としての名を一躍国際的に高めたのであった。

それから続く数年の抽象派全盛時代に、サンファルは敢えて具象的手法を用いて心理的意味合いの濃い直接的表現の開拓に踏み出してゆく。

1965年の個展で発表した豊満で軽やかなナナ達は女性の自由を象徴するサンファルの代表的シンボルとなった。「ナナ達はどこでも体を自由に動かすし、何でもできるわ」と、アーティストは語ったことがある。実際、紙粘土やポリエステル、ファイバーグラスなどで制作されたこの膨らんだナナ達は、極めて軽々と浮かんだり飛んだりする能力もっているようだ。

ここに展示されている鮮やかな彩色彫刻群はいうなら女性の一連の属性を紹介展示しているといえるだろう。時に応じて、それらは愛、豊穡、母性などをあらわす女神達となることによって。また、サンファルによって開発されたイヴも、女のもつ一つの役割の典型として広く知ら

れる。蛇がイヴに関連するシンボルとして配される一方で、蛇は生命の樹としてポジティブな力強さを与えられてもいる。更に9フィート（2.7メートル）の蛇には鏡のモザイクがほどこされていてきらきらと輝き、すぐ傍のガラス窓を透して見える那須の草木を反射させていたりもする。

長年にわたるミセス増田の作品選択は作家の初期作品から現代に至るまでを年代的に理解してゆくのを容易にしている。ほかにアーティストの重要な側面としては、タロットカードのもつテーマおよびブロンズ像の宗教的神秘性。加えて、作品のもつ物語性に着目した作品群も面白い。かなり辛辣だったりユーモラスだったり、かと思うと、〈手〉やく昨年夢を見た〉などのほかにもいろいろと散見される日記風表現は、平面・立体を問わず作家の個人的な想いが含まれていると思えて興深い。また、錆びた鉄の台上に金色の蛇を巻つけた青いナナの〈世界〉も、亡き夫ティンゲリーとの良き共同制作の一つというべきか。

〈日曜日の散歩〉は、多くの来館者の興味をひく作品である。カリカチュアライズされた描写で、巨しく威風堂々たる女と少し小ぶりの男。男は大きな黒蜘蛛の脚の一本をあたかも子供の手をひくがごとくにひいている。

さらに、ハイライトとして最後は神社風の暗い展示室に至るであろう。この室では古代地母神達に想を得た威厳のある数体のブロンズが見られる。かつて、サンファルは「あらゆる宗教の為の教会」の制作をフランス・ニーム市に依頼されたことがあり、それは実現しなかったが、そのときの研究以来、神々はサンファルを魅了し続けてきたという。

さて、このドラマティックな印象記もようやく終わろうとしているのだが、当初ぴかぴか光を発する作品から始まった今回の訪問も、摩訶不思議なるイルミネーションの作品鑑賞をもってそろそろピリオドをうつことにしようと思う。 - ( ) 内は訳者注。 -

## ニキ美術館

住所：栃木県那須町湯本203

開館時間：AM9:30～PM4:30（冬期）

入館料：\$9(¥1,000) 学生割引有。

TEL：0287-76-2322、FAX：0287-76-4622

・館内には洒落たカフェがあって庭園を見渡せる。ミュージアムショップにはニキのキャラクターグッズや英語・日本語によるニキ関連の書籍・カタログなどが販売されている。

## 交通案内

・東京駅・上野駅より「東北新幹線・那須塩原駅」

／「東北本線・黒磯駅」下車（東京駅から80分）

那須塩原駅・黒磯駅バス停より「新那須」下車、徒歩5分

黒磯駅バス停より「近光荘前」下車、徒歩2分

東北新幹線往復券（4日間有効）”Qきっぷ” \$86

御食事処・（ ）内は平均値段。

ふる里：那須町高久乙2733 TEL：0287-78-0529

日本そば屋（天ぷらそば \$13）水曜定休

ジョイア・ミーン：那須町湯本ツムジヶ平493-3

イタリア料理（\$27）木曜定休 TEL：0287-76-4478

サービス良好。

宿泊施設・宿泊は現金払い。ニキ美術館まで車または徒歩。

ホテルラフォーレ那須：那須町湯本206-959 TEL：0287-76-1811

FAX：0287-76-1804／東京予約センターTEL：03-5562-5489

高級ヨーロッパスタイル・ホテル／日本料理・フランス料理

1泊2食付。\$125～268

山楽：那須町湯本206 TEL：0287-76-3010 FAX：0287-76-4638

和風旅館／1泊2食付（伝統的懐石料理） \$277～473

東山：那須町湯本204 TEL：0287-76-1600 FAX：0287-76-3148

和風旅館／1泊2食付（伝統的懐石料理） \$134～313

ホテルサンバレー那須：那須町湯本203 TEL：0287-76-3800

FAX：0287-76-4455／東京予約センターTEL：03-3388-3800

38種類の温泉がファミリーに大人気。洋室。和室は少々。

1泊2食付。\$125～268

ホテルエピナール那須：那須町高久丙1 TEL：0287-78-6000

FAX：0287-78-6666／東京予約センターTEL：03-3535-8484

温泉プール及び種々の温泉施設。洋室、和室。\$138～

大黒屋：黒磯市板室856 TEL：0287-69-0226 FAX：0287-69-0497

和風旅館。特色・オーナーコレクションによる種々の現代美術

品を具えた和室と庭園／1泊2食付。\$125～170